

平成29年度 第28回 教育研究発表会

# 道徳教育を 核とした教育活動

学校力向上

居心地のよい  
環境づくり

## 研究主題 目指す子ども像

自己を見つめ、互いを認め合い  
かかわりあう子どもの育成

～互いのよさや違いを認め合う人間関係づくり～

よく考え、  
意欲的に学ぶ子

命を大切にし、  
たくましくやりぬく子

目指す子ども像

豊かな心を持ち  
協力し合う子

勤労の大切さを知り、  
すすんで働く子

## 道徳性の育成

① 道徳科において問題解決的な  
学習を取った指導方法の  
工夫

道徳的実践力

道徳的価値の自覚の高まり

② 目的

豊かな自己表現を目指した  
道徳の時間

総合単元ユニット

口吊における道徳的実践の場

学校 地域 家庭

# 帯小型問題解決的な学習スタイル

導入

体験を想起する

展開

心を耕す

考えを創造する

終末

発信する

「ずれ」を感じさせる

問題意識との接続

道徳的行為や習慣化

問題意識をもたせる

教材との出会い  
中心発問

きりかえしの発問

自分を見つめる

あたり前と  
思っていた  
もののずれ

他者と自分  
のずれ

それまでの自  
分の考え方を  
明らかにする

自分との  
議論

導入における  
根本的な問い  
に結論を出す

友だちの考えを  
聞いて新たな  
価値に出会う

自分の考え  
を友だちと  
交流し合う

相手との  
議論

価値の内面  
化から道徳  
的实践へ

事前アンケート  
生活場面の想起

多面的多角的に考える

教材に記された道徳的価値が介在している問題を  
自分自身の問題として意識すること

# 「考え議論する道徳」を目指した授業スタイル



※文部科学省「特別の教科道徳」の指導方法・評価等について（報告）参照。

	読み物教材の登場人物への 自我関与が中心の学習	問題解決的な学習	道徳的行為に関する体験的な学習
ねらい	教材の登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的・多角的に考える。	問題解決的な学習	役割演技などの疑似体験的な表現活動を通じて、道徳的行為に関する理解を深め、様々な状況に応じた道徳的行動を選択できるようにする。
体験を想起する	① 読み物教材の登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的・多角的に考える。	問題解決的な学習	役割演技などの疑似体験的な表現活動を通じて、道徳的行為に関する理解を深め、様々な状況に応じた道徳的行動を選択できるようにする。
心	① 読み物教材の登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的・多角的に考える。	問題解決的な学習	役割演技などの疑似体験的な表現活動を通じて、道徳的行為に関する理解を深め、様々な状況に応じた道徳的行動を選択できるようにする。
発信する	・ 教師による説話。 ・ 本時を振り返り、本時で学習したことや今後どのように生かすことができるかを考える。 ・ 道徳的諸価値に関する根本的な問いに対し、自分なりの考えをまとめる。 ・ 感想を聞き合ったり、ワークシートへ記入したりして、学習で気付いたこと、学んだことを振り返る。	問題解決的な学習	役割演技などの疑似体験的な表現活動を通じて、道徳的行為に関する理解を深め、様々な状況に応じた道徳的行動を選択できるようにする。

読み物教材の登場人物への  
自我関与が中心の学習

問題解決的な学習

道徳的行為に対する  
体験的な学習

# 授業づくり スマイルリング8

ねらいは  
すっきり  
明確に

導入は  
さらっと  
本時へ

無理なく  
無駄なく  
基本発問

中心発問  
が命です

自己を  
見つめる  
書くタイム

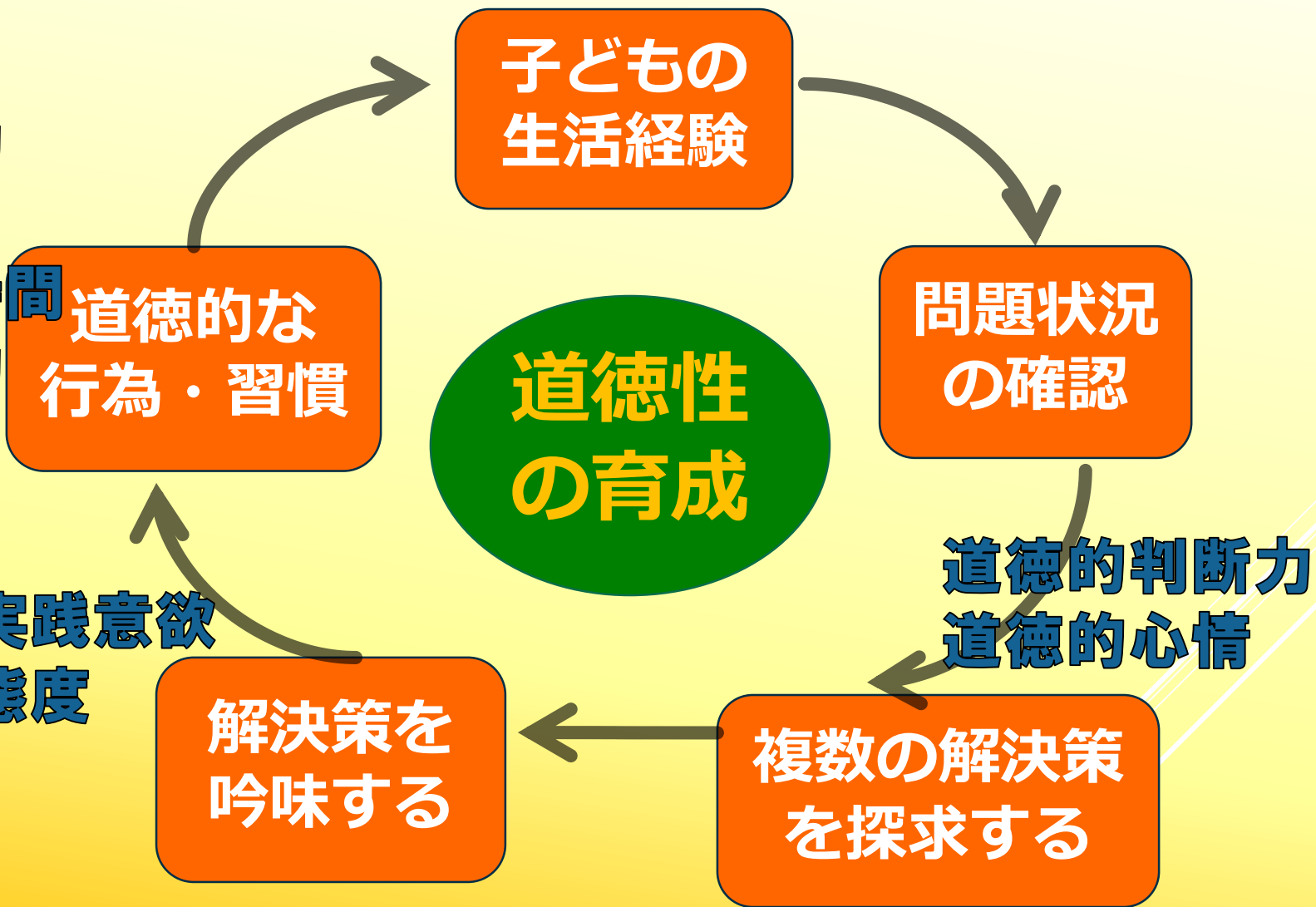
自己との  
対話

道徳ノートは  
宝物

板書で  
トーク

# 総合単元ユニット ⇒ 道徳性の育成

各教科  
特別活動  
総合的な  
学習の時間  
体験活動



# 今年度の道徳の重点とスマイリング道徳

1年生を迎える会

かけはし活動

## 今年度の指導の重点

自分の特徴に気付き、よいところを伸ばそうとする  
気持ちを高め、自分でできることは自分でやり、  
よく考えて行動し、節度ある生活をする心情を育む

USO

(たてわり班活動)

たてわり清掃活動

さよなら集会



# 道徳科における評価の在り方

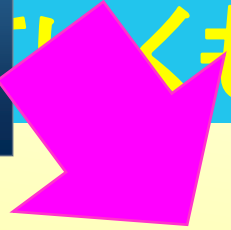
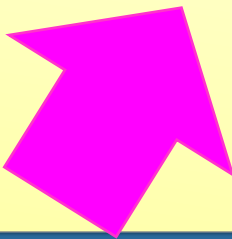
## 帯小の授業改善PDCAサイクル

児童側

Plan

事前研/指導案検討

し、意欲  
くもの



Act

授業改善/成果と課題

計画、指

Do

研究授業



Check

事後研/児童アンケート

改善・充実に取り組むため

# 児童側・4つの具体的な在り方

道徳の学習内で行われる  
ではなく記述式  
個人内評価

他の児童と優劣を  
全教育活動を通して行われる  
決められる  
個々の内容項目では  
なく、  
「道徳教育」における評価

道徳教育における評価は、**全教育活動**を通して行う

# 道徳における評価方法



① たぶん5回  
② もちろんだ  
③ ちひるせん理由、自分の気持ちの

**ポイント!**  
 ◎今日の勉強をしてみて、ありさつはても言っても、でもいじなことを思つには気持ちがあつておめられれているから、はただありさつをするではなくて、さつしたい。

**相手につたゆるありさつ**

あいつとは？  
 ◎相手をリリ気持ちにさせられる  
 ◎相手を思ひやる言言葉があつたか

あいつにはどんな思ひがあつて、考えよう。

あいつ、おはよう、こんにちは、いってきます

4/2 気持ちを伝える言葉

主題	高学年としての自覚を高め、自ら考え判断し行動できる5年生		
ねらい	集団生活に必要な、その時その場所その場合に応じて考えて行動できる力を育てていく。		
	道徳的心情	道徳的判断力	道徳的実践意欲
相手の立場にたった言動の大切さについて考えを深める	過程を大切にしながら、自ら判断し行動する大切さに気付く	最高学年という自覚をもち、自信をもって行動しようとする意欲を高める	

6年1組  
石倉飛那  
他の学年が笑顔で楽しんでいるのを見て、とてもうれしく感じました。いっしょに参加した1年生とも仲良くなれて、最後には自分の名前をよんでくれて本当にいい会でした。

	心ユニット (道徳ノートより)	体験ユニット (遠足・1年生を迎える会)	思考判断ユニット (学活)	発信ユニット(1年生をむかえる会・遠足・運動会)
山口 紗良	公共心について、本を思わすではなく、実行すること大切。 みんなにありさつをかけたこと、これこれや上でやりたことある。		めざす5年生としての姿 「6年生と近い、5年生」	・新緑の1年生と関わり笑顔で対応。↑周りの気配 ・遠足で花を声かけする ・運動会で、時間を守り、呼吸をみて行進し、(声はかけず)
木 佳奈恵	公共心。1番大切なのは、自分の物に責任をもつこと。 あいつは気持ちを伝える言葉、本からこれから使っていた。 本当の自由は、これこそ守りながら、笑いにできる。・これこそ男の子と女の子を合わせて本が読めていた。	本が読みに来て、副班長として1年生にいろいろお話をあてました。	めざす5年生としての姿 「4年生の両隣の5年生」 みんなが楽しめることを、あつたこと「道徳」を提案	・みんなに声をかけ、遊ばせて、すすめ、自分も笑顔で参加。 ・自分持て、自分の荷物、身のまわりを整理する。・干す、あいつの声が大き。そして、下着、運動会に、何枚も着る。また、声かけ、呼吸をみて行進し、
須賀 龍太郎	自分勝手な行動をすれば、みんなに悪いことになる。 人をさすかた言葉に気をつけてしゃべりたい。	自分の思いついたことを、あいつはダメ...	めざす5年生としての姿 「人に聞かすかんはいる5年生」 運動会、練習時のみお級の、はるからみんなにやさしく声かけする。周囲に気をつけている。	・森本くん、やさしく声をかけ、足が痛い森本くんをフォロー。 ・運動会の時、みんなのバトン、友だちにひいてあげます。

# たんぼぼ

たんぼぼ「たんぼぼ」のようち、  
くっついていいて楽しいのよ



このことを  
目の輝きが  
日々の個性  
を花びらと



4月  
20日

「道徳のよ」を  
伸ばしていくことに  
まい、西条通の  
と聞いています。

授業の冒頭にどんな時に自  
己を自分でしなさいと  
聞かれました。聞かされて  
聞かされたら自分で  
準備した方がいい  
用具の準備

主人公のよし子は、進級祝いにももらった目覚まし  
う時計をきつっかけて、生活のきまりをつくり、守る  
と努めている。遊びで帰宅が遅くなり、宿題  
の立が間に友達の遊びでテレビを壊す見たり  
ある目に、友達の遊びでテレビを壊す見たり  
し、目を潰す、目を潰す、目を潰す、目を潰す  
目、目を潰す、目を潰す、目を潰す、目を潰す  
保健室で休みになつてしまふ

# 特別支援教育 のぞみ学級（知的）の研究

## のぞみ学級の目指す子ども像

共に学ぶことにより、  
**自己理解・他者理解**  
を高め、様々な思いを考  
えることができる子ども



友達や地域社会の人達と、  
**関係性**をつくり、**共に生**  
**きる**ことができる子ども



## 生活単元学習



意欲的に活動で  
きる授業，生活力  
を高める授業の  
構築

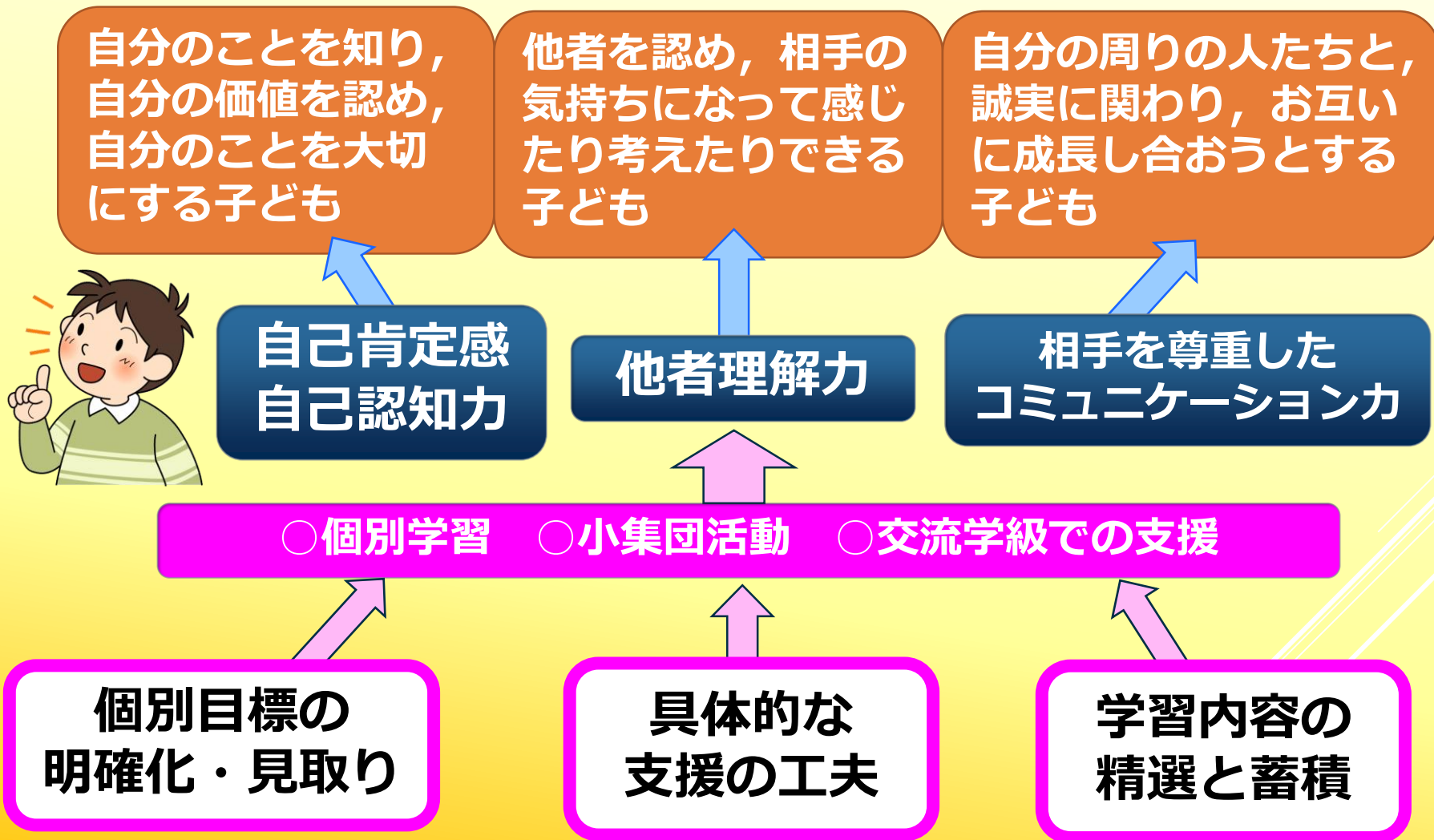
自分の思いの表  
出，他者理解に  
つながる工夫と  
展開

交流学習の  
充実

地域交流の  
充実

# 特別支援教育 こもれび学級（情緒）の研究

## こもれび学級の目指す子ども像



# 特別支援教育 ことばの教室（言語）の研究

ことばの教室の目指す子ども像

伸び伸びと自己表現  
できる子ども



活発なコミュニケーション活動を通  
して積極的に生活していこうと  
する子ども

集団参加の力

豊かな自己表現と人との関わり



一対一関わりを中心に

実態把握と  
子どもにとって  
の課題の理解

支援の振り返りと  
見直し

表面上の言語症状に  
偏ることのない  
バランスの取れた  
アプローチ

ご清聴ありがとうございました

